

これからの食のブランド化を考える

コロナ禍において観光産業が低迷し、地域では特産物の販売やブランド化に影響が生じています。そのため、域内や観光客など域外からの消費に頼るだけでなく、域外に発信するためのブランド化戦略が必要です。

また、食をはじめとして消費に対する価値観が変化しており、特にSDGsや環境に配慮した取組への関心が高くなっています。学術として地域の食産業のブランド化に貢献するために、科学的根拠に基づく地域企業と連携した商品開発が重要ですが、加えて、SDGsの視点を含むことで消費者の関心が高まると考えられます。

そこで、食品産業と学術の視点から、ウイズ/ポストコロナにおける新たなブランド戦略を考察することとし、公開講座を開催します。

1 日時：令和4年2月24日（木） 13:30～15:00

2 方法：Zoomによるオンライン開催

3 内容：

（1）講演

「仙台発SDGsによるブランド化戦略」

株式会社かね久 代表取締役 遠藤 伸太郎 氏

（2）パネルディスカッション

「これからの食のブランド化を考える」

パネリスト：株式会社かね久 代表取締役 遠藤 伸太郎 氏

株式会社二上 代表取締役 二上 達也 氏

食産業学群 助教 滝口 沙也加

ファシリテーター：食産業学群 教授 金内 誠

4 申込方法

本学HPからの申込みフォームかQRコードの読み取りにより2月21日（月）までに申込みください。



5 お問い合わせ

Tel : 022-377-8319 Fax : 022-377-8421

E-mail : renkei-kouza@myu.ac.jp